

しずおか創造ネット

第 30 号

2011.5.1



大好評・インターネット講座開催！

三月二十四日（木）小鹿の「来てこ」にて第十三回インターネット講座を開催しました。十三名の受講者がネットの仕組みを学習後、ネットサーフィンに挑戦し、受講生が今後必要と思われる情報の検索を多方面に渡って体験しました。案ずるより「まず検索してみよう」の言葉で楽しい二時間でした。時間が足りないほどの盛り上がりがあり、再度の開催要望が多かったため、今後随時開催を予定していますのでご期待下さい。



ネットはリアルタイムな情報が満載

地域の中の『認知症高齢者とグループホーム』

皆さんの住居近くにあるグループホームの入居者が、若いスタッフと近くのお店への買い物や公園を散歩する風景をご覧になっていることでしょうか。

グループホームは、認知症の高齢者が一軒の家に少人数で住み、介護職員がお年寄り一人ひとりのペースに合わせて介護することにより、病気の進行を緩やかにし、問題行動を減少させ、精神的に安定した生活を送って頂く為の施設です。入居者の部屋は全室個室で家具や生活用品を持ち込み、できるだけ今まで暮らしていた生活環境に近い状態になるよう心掛けられています。

介護リサーチ部門は、グループホーム・小規模多機能型ホームの「外部評価」を行っています。運営するホームが自ら自己評価し、それを受け第三者の目で審査し、ホームは改善の目標を作成し、一人ひとりに合った介護や生活を目指します。

ホームへの応援団の役目を担って活動しています。皆さんにもぜひ地域の応援団になって頂き認知症の方々を見守って下さることを期待します。



豆知識！

『メディア新時代』

先頃の震災では「情報不足」が問題になりました。被災地ではテレビ、携帯が使えず、他の広い地域でも携帯や電話で通話できず、いざという時には頼りにならないことが分かりました。

そんな中、威力を発揮したのが前回取り上げたリアルタイムで情報交換できるツイッター、インターネットで無料通話ができるスカイプ等のインターネットサービスでした。テレビが見れない人に向け、NHKが通常放送と同じ内容を流したユーストリーム(※)も注目を集めました。このサービスは、パソコンとカメラ、またはアイフォーンさえあれば誰でも生中継ができるという手軽さで急速にユーザー数を伸ばしています。ユーザーは予め撮影した過去の動画なのに対し、これはリアルタイムの動画であることが特長です。日本では事業仕分けの中継で有名になりましたが、震災後は政府、東京電力の会見等、重要なものに一部が全く放送されないものが見ることが出来たりします。今後こういった新しいメディアがさらに重要な役割を果たしていくのかもしれない。

※ <http://www.ustream.tv/>



協賛広告！

「地デジ元年」

1月24日がその日です

あなたの街の電気屋さん
イルム みぞした
静岡市葵区巴町 31-16 電話 246-1531

お知らせ！

三月十一日に発生した「東日本大震災」では未曾有の被害が発生しました。被災者の皆様には改めてお見舞い申し上げます。この度の災害ではマスコミ報道も然ることながら、インターネットを通じた迅速な地震情報や計画停電実施情報などが活用され、避難者情報などのブログ掲載・投稿などもあり、改めてインターネット接続の必要性を痛感させられました。当会では定期的にインターネット体験講座を開催しておりますので、是非ともご参加下さい。